

緩和ケアチームのご案内

がんになったとき、
からだやこころ、生活のつらさを和らげ
その人らしく、その人が望む日々を過ごせるよう
お手伝いする医療があることをご存じですか。



群馬県立がんセンター



緩和ケアは、患者さんの症状を和らげ、自分らしい生活を送るための医療です

当センターは全ての医療スタッフが、誰にでもいつでも診療と同時に「緩和ケア」を提供できるよう、協力しあっています。

みなさんのつらさを知るために「生活のしやすさに関する質問票」という問診をとらせていただいています。

みなさんのつらさを、私たち医療スタッフへ教えてください。

見えない症状やつらさを教えていただくことが私たち医療者がみなさんに「緩和ケア」を提供できる第一歩になります。

「緩和ケア」について考えるタイミングは、
「早すぎる」ことも「遅すぎる」
こともありません。



緩和ケアチームの主なメンバー

●医師

主治医と共に痛みなどの身体の症状を担当する医師と、精神症状を担当する医師が協力してサポートします。

●看護師

担当看護師と共に緩和ケアに関する専門の知識を持ったチーム看護師が関わります。

●薬剤師

痛みをはじめとした、さまざまな症状を緩和するための薬について相談を受けます。

●医療ソーシャルワーカー

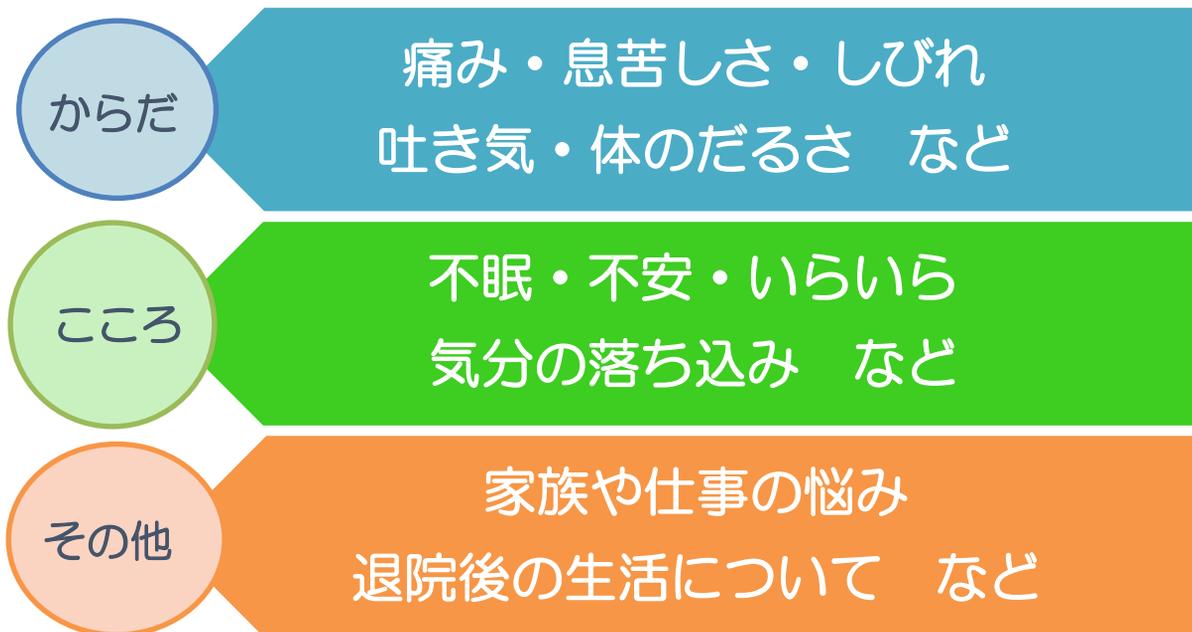
生活全般の経済面、福祉制度、在宅療養の調整などをサポートします。



緩和ケアチーム



病気そのものの治療だけでなく、痛みなど苦痛となる症状を積極的に治療することも大切です。緩和ケアチームでは、身体や心などの様々なつらさを和らげ、よりよい生活を送ることができるように、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー等が協力し、主治医と共にあなたとご家族を支えます。



診療をご希望の方は、医師や看護師にお声かけください。入院診療の場合、緩和ケア診療加算が1日390点（3割負担：1,170円/日、1割負担：390円/日）がかかります。あらかじめご了承ください。



緩和ケアチームに相談を希望される方は、
主治医もしくは看護師にご相談ください。

